

糸魚川市インターンシップメニュー

1 メニュー名

フォッサマグナミュージアム実践型インターンシップ

(担当：文化スポーツ課博物館係)

2 概要

糸魚川ユネスコ世界ジオパークの中核拠点施設であるフォッサマグナミュージアムをフィールドに、博物館の4大機能（展示・収蔵・教育・研究）を総合的に学び、展示物の解説パネルやミニ展示物を企画・制作するインターンシップです。

対 象 者： 大学生（博物館の業務に興味があり、教育普及や地域振興に意欲のある方）

期 間： 5日間

定 員： 4名

実習場所： フォッサマグナミュージアム館内、市内フィールド

3 受入期間

令和9年2月16日（火）～20日（土）

4 このインターンシップで身に付く力

「博物館の機能を知る」だけでなく、「学術的な情報を社会へ伝える仕組みを自分で考える」実践型インターンシップです。

実際の学術標本（ヒスイや化石など）に触れ、学芸員の指導のもとで情報を整理し、来館者に伝わる解説パネルやミニ展示物を作成します。地域づくり、教育、広報、企画などに関心のある方におすすめです。

5 活動計画（5日間スケジュール例）

日程	活動テーマ	主な活動内容
1日目	オリエンテーション	インターンの目的、5日間の流れ、博物館の4機能（展示・収蔵・教育・研究）、糸魚川ジオパークとの関係性を説明する。
2日目	収蔵・研究の体験とテーマ選定	実物標本の取り扱いや整理手法を学び、自身のミニ展示に使用する標本を選定する。学術的背景を調査し、展示の骨組みを練る。
3日目	解説パネルの作成	教育機能を踏まえ、来館者の視点を意識した分かりやすい解説文を執筆し、展示パネルのデザインとデータ制作を行う。
4日目	展示物製作の体験と設営	作成したパネルデータを出力し、標本とともに実際の展示ケース内に配置する。照明やレイアウト等を調整し、設営を行う。
5日目	成果報告・振り返り	完成したミニ展示物を博物館に展示する。作成した展示の意図や工夫点を職員へ報告し、意見交換と振り返りを行う。

※日々の業務終了前に15分程度の振り返りを行い、翌日の指示出しを簡潔に行う。

6 支援体制・環境

- ・本市のインターンシップは、糸魚川市総務課が全体の受入窓口となり、各実習メニューの担当課と連携して実施します。
- ・本メニュー「フォッサマグナミュージアム実践型インターンシップ」は、文化スポーツ課博物館係が実施を担当し、実習内容の説明、視察・ヒアリングの調整、活動中の助言等を行います。
- ・市内での視察やヒアリング等、プログラム活動中の移動については、原則として博物館係職員が庁用車で対応します。
- ・糸魚川市までの往復交通費、宿泊先の確保、宿泊費、食事代等は学生の負担となります。必要に応じて、市内の宿泊施設や食事場所等の情報提供を行います。予約や支払いは学生自身で行ってください。

7 対象者

次のような方におすすめです。

- ・地域づくりやまちづくりに関心がある方
- ・行政や博物館の仕事、地方自治体の取組を知りたい方
- ・観光、交流、関係人口、教育普及などに関心がある方
- ・実物標本の取り扱いやサイエンスコミュニケーションを経験してみたい方
- ・自分のアイデアを「展示」という具体的な形にしてみたい方
- ・糸魚川市の地域資源（ヒスイ、化石、フォッサマグナ等）や暮らしに関心がある方